

# 伊賀ドライブイン 祝う

## 間もなく25年

伊賀市柘植町の名阪国道伊賀インターチ  
ェンジ沿いの「伊賀ドライブイン」で23日、  
開業25年を記念するイベントが開かれた。  
ダンスパフォーマンスや太鼓演奏が行われ  
たほか、地元関係者らが今後の施設のあり  
方について懇談。徳川家康ゆかりの地であ  
る「柘植」のドライブインとして、来年の  
NHK大河ドラマ「どうする家康」を応援  
し、地域おこしに生かす案が披露された。

(藤田真則)

## 家康大河で地域おこし

同ドライブインは、柿の  
菓すしの製造販売などを手  
がける「あじみ屋」(大阪  
府松原市)が運営。同社に  
よると、以前は別の会社が

建てたレジャーランドがあ  
ったが、1990年代のバ  
ブル崩壊で撤退。施設を引  
き継ぐ形で98年12月にドラ  
イブインを開業し、オーパ



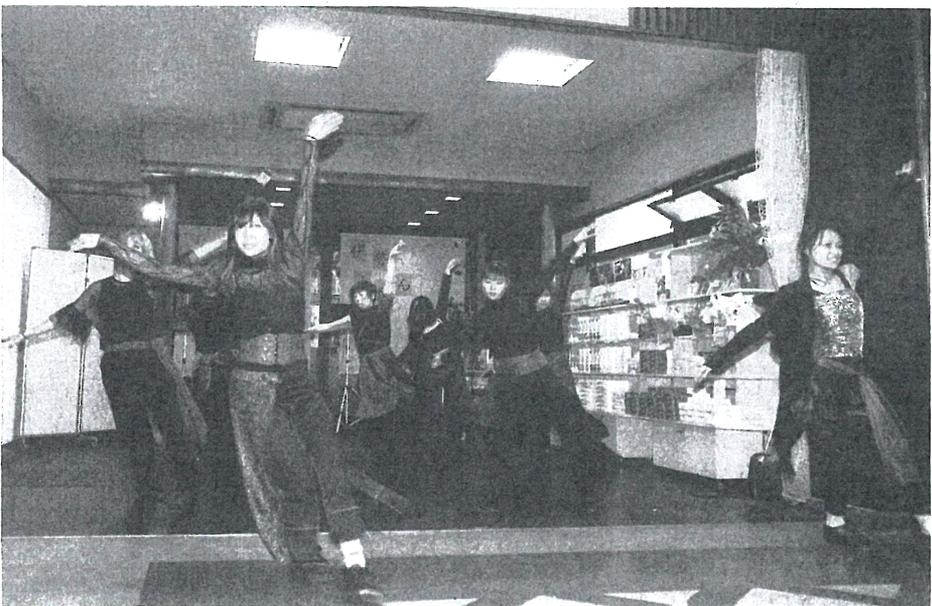
間もなく開業25年目を迎える伊賀ド  
ライブイン(いずれも伊賀市で)

ン直後は1日約8000人  
が訪れたという。

間もなくオープンから25  
年目を迎える。しかし、近  
年は新型コロナウイルスの  
影響から利用が減少。あじ  
み屋の清水幸隆社長は「伊  
賀地域の東の入り口とし

て、PRしたい」と語る。  
イベントでは、伊賀市内

のダンススタジオチームに  
よるダンス披露などがあ  
り、来場者らが足を止めた。  
一方、懇談会では、地元  
にある徳永寺の静永史範住職  
が、本能寺の変を受けて、



イベントで踊りを披露するダンスチーム

家康が滞在先の堺から三河  
に逃れた「神君伊賀越え」  
と徳永寺のつながりは否定  
の際、徳永寺に立ち寄った

ことを説明。諸説あるルー  
トの中で、「いずれも家康  
を観光してほしい」と話し  
た。

されていない」と強調した。  
清水社長は「大河ドラマ  
でも伊賀越えの場面は出て  
くると思う。ぜひ、当ドラ  
イブインから柘植のまち